**基本目標①**

**「すべての市民が文化芸術を鑑賞・体験できる環境をつくります」**

1－1　文化芸術活動と鑑賞機会の確保【短期】

1－2　宗像ユリックスでの鑑賞機会の創出【短期】

1－3　アマチュア文化芸術出前隊【中期】

**基本目標②**

**「文化芸術のつくり手の活動を支えます」**

2－1　データベースの構築【短期】

2－2　コーディネーターの養成【短期】

2－3　若手芸術家派遣制度【中期】

2－4　ネットワーク形成の促進【中期】

**基本目標③**

**「文化芸術を活用したまちづくりを推進します」**

3－1　文化芸術活動団体助成事業【短期】

3－2　文化芸術を通じた交流の促進【短期】

3－3　文化芸術の意義に関する啓発活動【中期】

3－4　文化芸術の他分野への活用【中期】

3－5　市の魅力となる文化芸術の創出【中期】

**基本目標④**

**「文化芸術的資源を保存・活用・継承します」**

4－1　文化財等の保存と活用【短期】

4－2　世界遺産に向けた保存・活用・継承【短期】

4－3　郷土文化学習交流施設の活用【短期】

4－4　文化芸術的資源の把握と継承プログラム作成【短期】

4－5　地域学芸員の養成【短期】

4－6　情報発信の民間の取り組みの促進【中期】

**基本目標⑤**

**「文化芸術に関する総合的な仕組みをつくります」**

　5－1　元気なまちづくり基金の創設と活用【短期】

5－2　文化振興財団（仮）の設立【短期】

5－3　専門家の配置、相談窓口開設【短期】

5－4　検証評価委員会の設置と検証【中期】

**1‐1　文化芸術活動と鑑賞機会の確保【短期】**

**【平成25年度報告】**

地域での文化芸術鑑賞体験モデル事業について、各コミュニティ地区にアンケートを実施、平成25年度から26年度にかけて5地区より希望あり。2地区を選定し、それぞれの地区で鑑賞・体験の計2回を行う。平成25年度は池野地区と河東地区の2地区を選定し、1月26日（日）に2地区で実施をした。企画調整及び運営は宗像ユリックスに委託。実施内容は、ジャズ・コンサート（クラリネット、ピアノ、ベース、パーカッション）を1時間程度鑑賞、その中で実際にクラリネットを演奏する体験コーナーなど取り入れ、鑑賞と体験を織り交ぜたコンテンツとした。池野地区は79名、河東地区は140名が集まり、そのほとんどが日常的には鑑賞体験機会のない高齢者であった。なお、河東地区に関しては文化祭のプログラムの1つとして開催した。「大変良かった」「音楽が身近に感じられた」「このような機会を増やしてほしい」との感想が大変多く、満足度も双方とも97％と効果の高い事業であることが伺える。来年度はモデル期間最終年度であり、地元の意向をくみ取ってじっくりと調整を行ってから、事業を実施し、効果のサンプリングを行っていきたい。

実施日　平成26年1月26日（日）※午前・午後1回ずつ

実施場所　池野地区コミュニティ・センター、河東地区コミュニティ・センター

企画運営委託先　公益財団法人宗像ユリックス

費用　354,900円

   

**【平成26年度計画】**

実施日　先方と調整の上決定

実施場所　自由ヶ丘地区コミュニティ・センター、吉武地区コミュニティ・センター

大島地区を予定

企画運営委託先　公益財団法人宗像ユリックスを予定

予算　500,000円

地域での文化芸術鑑賞体験モデル事業実施要項

資料１

○　名称

地域での文化芸術鑑賞体験モデル事業

○　目的

　　宗像市文化芸術のまちづくり10年ビジョン重点プロジェクトである「文化芸術活動と鑑賞機会の確保」の事業の１つとして、文化施設である宗像ユリックスへの移動手段確保が困難であったり、高齢などの理由で文化芸術の鑑賞体験機会が得にくい市民のために、身近なコミュニティ地区内での機会創出を図る。

　　3年間のモデル期間の中でニーズ調査、潜在需要の喚起、実施主体の検討を行う。

○　実施場所

　　市内12コミュニティ地区のうち2地区/年を予定（モデル事業3年間で6地区）

○　実施期間・回数

|  |
| --- |
| 平成24年度平成24年11月から平成25年3月の期間で、2地区それぞれ2回程度（岬、玄海） |
| 平成25年度平成25年4月から平成26年3月の期間で、2地区それぞれ2回程度（池野、河東） |
| 平成26年度平成26年4月から平成27年3月の期間で、3地区程度（自由ヶ丘、吉武、大島） |

○　対象者

　　コミュニティ地区内の住民

○　予算

　　社会教育事業費　500,000円

○　スケジュール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 月 | 業務内容 |
| 24年度 | 9月10月11月3月 | 各地区コミュニティへのニーズ調査（アンケート）調査結果分析、3年間のモデル地区選定実施主体へ委託契約、事業実施（2地区×2回程度）事業評価 |
| 25年度 | 4月3月 | 実施主体へ委託契約、事業実施（2地区×2回程度）事業評価 |
| 26年度 | 4月3月 | 実施主体へ委託契約、事業実施（3地区程度）モデル事業3年間の実施結果の検証 |

**1－2　宗像ユリックスでの鑑賞機会の創出【短期】**

**【平成25年度報告】**

子どもの頃から文化芸術に触れることは、教育的観点から大変重要であるが、小学校の学習活動の中で本格的な専用ホールで本物の文化芸術鑑賞や体験をする機会は必ずしも多くない状況にある。そこで、市が主体的に子どものために本物のホールで本物の芸術を鑑賞・体験する機会を創出するのが本事業である。昨年度に引き続き、九州管楽合奏団×金聖響によるコンサートを実施。参加全校をバスで送迎し、鑑賞2週間前から楽団員による出前授業を行い、楽器紹介、コンサートの楽しみ方やマナーをレクチャした。本番では、鑑賞するだけではなく、全員合唱も行った。

プログラムの選定には指揮者金聖響氏も深く関わり、昨年よりも生徒の反応が良かった。

　一昨年、昨年度に引き続き、同じ内容を実施したことで、反省・改善がなされ内容がより良くなり、今年度はこれまで以上に大変好評であった。

実施日　平成25年11月7日（木）※午前・午後1回ずつ

実施場所　宗像ユリックスハーモニーホール

企画運営委託先　公益財団法人宗像ユリックス

費用　5,300,000円

**【平成26年度計画】**

今年度でモデル事業期間終了。来年度はこれまでと同様に九州管楽合奏団によるコンサートを予定。指揮者については現在選定中。

実施日　平成26年11月7日（金）（予定）※午前・午後1回ずつ

実施場所　宗像ユリックスハーモニーホール

企画運営委託先　公益財団法人宗像ユリックス

予算　5,500,000円

**平成２５年度　ユリックスでの芸術鑑賞モデル事業　実施要項**

本事業は、宗像市文化芸術のまちづくり１０年ビジョンの重点プロジェクトの１つであり、平成23年度から3年間のモデル事業として取り組むものである。

趣旨：子どもの頃から文化芸術に触れることは、教育的観点から大変重要であるが、小学校の学習活動の中で本格的な専用ホールで本物の文化芸術鑑賞や体験をする機会は必ずしも多くない状況にある。そこで、市が主体的に子どものために本物のホールで本物の芸術を鑑賞・体験する機会を創出する。

主催：宗像市（文化・スポーツ推進課）

対象：宗像市内の小学校4年生全員

（5･6年生は学年行事が多いため、4年生としている）

場所：宗像ユリックスハーモニーホール

　　　（宗像随一の専用のホールで鑑賞・体験することが重要）

時期：平成25年11月7日（木）午前・午後2回公演

　　　（全校の小学4年生数はホール定員を超えるため、1日に2回行う）

　　　（時間帯は10:00～、14:00～で実施。参加希望調査を行い、調整を行う）

交通手段：全校バスにて送迎を行う（渡船含む）

　　　（バスの費用は市が負担する）

　　　（詳細は各校毎に打合せ）

事業内容：音楽鑑賞（60分程度）

演奏：九州管楽合奏団（宗像市に拠点を置く九州初のプロの吹奏楽団）

指揮：金聖響（近年活躍目覚しい指揮者。子ども対象のプラグラムでの実績も高い）

内容：オーケストラ曲、マーチ曲、全員で一緒に歌える曲、小学4年生の音楽の授業で学習する曲など。

事前授業：楽団員が本公演に先がけて全小学校で出前授業を行う。内容は楽器紹介、コンサート鑑賞のマナー、音楽の楽しみ方など。（別途打ち合わせ）

**1－3　アマチュア文化芸術出前隊【中期】**

**【平成26年度計画】**

データベース稼働後に事業開始予定。事業要項を定め、データベース登録時にアマチュア団体へ出前隊参加への意向確認。

1回の出前につき1人1,000円（最大5人）の旅費を市がアマチュア団体に支払い、また出演料はアマチュア団体が設定する。

予算　500,000円（旅費）

**2－1　データベースの構築【短期】**

**【平成25年度報告】**

　今年度、ビジョン中期プロジェクトを前倒しして実施した「市の魅力となる文化芸術の創出」事業である「宗像ミアーレ音楽祭」をはじめ、市やユリックスの文化事業を通して、市内の文化芸術団体の情報を集約した。

**【平成26年度計画】**

　今後も事業とあわせて文化芸術団体の情報を集約・蓄積を行う。活用方法についても、今後ユリックスと協議、検討する。

予算　500,000円（システム作成費）

　アーティストや文化芸術活動団体

　　　　

演劇　　　　　　　音楽　　　　　　　茶道　　　　　　　美術　　　　　　　合唱



団体は

文書で登録申請

市やユリックスからメルマガや出演出展依頼



宗像市アーティストデータベース

　　　　　　　　　　

宗像ユリックス　　　　　　　　　　　　　　文化・スポーツ推進課

H26～各種補助金情報

　　　 市文芸補助金案内

アマチュア文化芸術派遣事業

若手芸術家派遣事業

サロン開催案内

他分野活用事業

H26～ロビーコンサート出演者募集

イベント出演・出展募集

市民ギャラリー利用者募集

販売促進

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 登録番号 |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 団体区分 | □プロ　　□アマチュア |
| ジャンル① |  | ジャンル② |  |
| 団体名 |  |
| 代表者名 | （□公開　□非公開） |
| 連絡先名 | （□公開　□非公開） |
| 住所 | （〒　　－　　　）（□公開　□非公開） |
| 電話番号 | （□公開　□非公開） |
| Eメール | （□公開　□非公開） |
| 編成・人数 |  |
| 活動拠点 |  |
| 活動内容 |  |
| 提供の可否 | □　ユリックスロビーコンサート他各種文化事業□　アマチュア文化芸術派遣事業□　若手芸術家派遣事業 |
| 提供内容 | ・鑑賞メニュー・体験メニュー |
| 提供条件 | ・時間の条件 |  |
| ・場所の条件 |  |
| ・設備の条件 |  |
| ・金銭の条件 | （プロのみ） |
| メールマガジン | □希望する　　□希望しない |
| 【希望する内容】□文化芸術に関する各種補助金情報のお知らせ□文化芸術に関する宗像市＆宗像ユリックスからのお知らせ |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 受付日 | 受付者 | 決裁 | 登録日 | 登録者 |
|  |  |  |  |  |

団体プロフィール（公開）

|  |
| --- |
|  |

出演履歴（公開）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日時 | 場所 | イベント名 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**2－2　コーディネーターの養成【短期】**

**【平成25年度報告】**

　コーディネート機能を公益財団法人宗像ユリックスの大きな特徴とし、宗像市の文化芸術のハブを担った。

今年度については、「宗像ミアーレ音楽祭」実行委員会のなかで、コミュニティ、商工会、青年会議所、市民団体等と連携し、ユリックス職員がコーディネーターの役割を担った。

「中村研一特別展」においても、ユリックス職員が中心となり、アートボランティアとともに運営を行った。

また「ユリックスカフェ」においては、「ユリックスを語ろう」「音楽があふれるまち宗像」のテーマをもとに、参加いただいた多くの市民の方から意見を募ることができた。

**【平成26年度計画】**

　来年度も「宗像ミアーレ音楽祭」を実施するにあたり、市内大学などより範囲を広げた形で実行委員会を組織し、今年度よりもさらなるコーディネート力を養成していく。

　また職員の外部研修受講も今後継続的に行い、事業の展開のみでなく、ユリックスが市民を巻き込んだ形での文化芸術活動の拠点となるよう、より高度なコーディネート力を持った職員の養成を行っていく。

**2－3　若手芸術家派遣制度【中期】**

**【平成26年度計画】**

　事業要項を作成。データベース稼働後、オーディションを行い、市内小学校等への派遣事業を実施する。

**2－4　ネットワーク形成の促進【中期】**

**【平成26年度計画】**

データベース稼働後、文化芸術活動が集うサロンを開催し、ネットワークを形成。ジャンルを越えた連携やイベント同士のコラボレーションを行う。

**3－1　文化芸術活動団体助成事業【短期】**

**【平成25年度報告】**

　市民等や民間団体の文化芸術活動をまちづくりに活かすために、市の文化芸術の振興を目的とした活動（文化芸術のまちづくりや人づくり、地域伝統文化の継承・活用や、次世代育成など、文化芸術の力をまちづくりに活用する活動）に対して資金面での支援を行った。平成25年度は、予算額前年度比100万円増の500万円で、1次募集は9件の申請があり、9件に交付決定、2次募集は3件の申請があり2件に交付決定、合計3,333,000円の補助を行った。

**【平成26年度計画】**

　募集要項に暴力団排除の審査同意欄を新たに設ける。審査要項は変更なし。予算額は平成25年度同様500万円とする。

≪平成25年度／1次募集≫

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| № | 団体名 | 事業名 | 事業概要／総括 | 決定額(円） | 事業期間 |
| 1 | むなかたミュージカルメイツ | みんなで創る宗像のミュージカル | 一般公募を行い、老若男女・地域を越えた人員でミュージカルを創り上げ、皆で心ひとつ舞台を創る喜びを体験する。ミュージカルを通して、宗像の歴史・文化や、命の大切さを伝えていく。 | 500,000 | 3年目/3年 |
| 沖ノ島、大島、宗像本土の姫神三部作の第３部であり、今年度は１００年後の宗像を舞台にストーリーを展開。観客の反応も良く、客席は超満員であった。 |
| 2 | 鐘崎盆踊り振興会 | 福岡県文化財指定鐘崎盆踊り保存継承事業 | 県指定無形民俗文化財の鐘崎盆踊りを継承するため、浴衣等の衣装を買い揃え、個人負担を軽減させる。また披露機会拡大や学校授業の取り組みを推進し、保存継承を図る。 | 498,000 | 初年/3年 |
| 木屋瀬芸術祭、岬地区コミュニティの盆踊り、木屋瀬宿場まつり等多くの事業に参加。また、玄海東小の玄東まつりにも参加し、次世代への継承も行った。浴衣を新調したことで盆踊り参加者も増加。 |
| 3 | 神湊三自治会連合会 | 市無形文化財「神湊盆踊り」継承・活用事業 | 神湊盆踊りは平成2年に玄海町無形文化財の指定を受け、昭和57年には地元3自治会による「神湊盆踊り保存会」が組織された。次世代育成が今後の大きな課題であり、後世へ継承、保存のための記録の作成を行っていく。 | 500,000 | 2年目/3年 |
| 映像機器の購入により踊り、唄、三味線の練習が効率的になった。また盆踊り大会、イベント参加時に新しい幟の掲揚、法被の着用により、地域住民の「神湊盆踊り」に対する試着や関心の高まりが感じられた。 |
| 4 | 宗像霊場めぐり研究会 | 宗像四国西部霊場めぐり活用事業 | 旧宗像郡で幕末から続けられている霊場めぐりという文化にふれることで認知度を高め、これを継承発展させていく。宗像四国霊場の存在を多くの方に知ってもらい、郷土愛を育むとともに、歩いて巡ることで健康づくりにも役立てたり、文化観光の資源とするなど、副次的効果も狙う。 | 73,000 | 初年/3年 |
| 地域の文化伝承としての巡り文化を見直し、地図に歩くルートを示し、写真の掲載、また地域の歴史や紀行文をまとめた後世に資料として残せる冊子作成を行った。また他地区のコミュニティとの連携し、展示を行い、多くの方に興味関心を持っていただけている。 |
| 5 | 田熊山笠実行委員会 | 田熊山笠の伝統文化継承 | 田熊山笠は、1992年地域の有志で復興され、今年で22年を迎えた。地域に残る伝統文化を尊重し、後継者の育成と地域の活性化を図るために行うものである。 | 310,000 | 2年目/3年 |
| 東郷小学校で山笠教室を行い、追い山当日には全校生徒が参加している。東郷小や自治会を巻きこんで事業を行うことにより、より連携が深まっている。また本年は新市制１０周年記念事業として行われた「むなかたみんなの山笠」にも参加。 |
| 6 | みあれ祭陸上神幸実行委員会 | 宗像大社みあれ祭陸上神幸 | 宗像大社みあれ祭りにおける陸上神幸徒歩行列を地域住民や市民団体が連携して催行することにより、地域伝統文化の継承を図るとともに、地域のにぎわいや郷土愛を深めることに貢献する。 | 500,000 | 2年目/3年 |
| 地域住民や学校、市民団体が連携して催行することにより、郷土愛を高め、地域伝統文化継承を図ることができた。 |
| 7 | 地島山笠保存会 | 地島山笠継承事業 | 地島山笠は、無病息災と豊漁を祈願して、毎年地区の牧神社・厳島神社に奉納する山笠である。山に飾る人形については、人形師のご好意で毎年借りていたが、この人形師が廃業したため、別の人形師から人形を買い取り、伝統ある山笠を継承していこうとするものである。 | 300,000 | 初年/3年 |
| 小学校や幼稚園も一緒になって山笠を盛り上げることで郷土愛を高め、島民の結束が強まった。また、新市制１０周年イベントの「むなかたみんなの山笠」にも参加し、他の山笠との連携を深めた。 |
| 8 | お出かけ音楽隊 | お出かけ音楽隊 | 地域の子育てサロン、幼稚園、コミュニティ・センターで童謡、唱歌、日本歌曲、クラシックの名曲などを演奏したり、人形オペレッタや影絵、「絵本とお話と音楽との共演」で子どもにも親しみやすい形で歌や楽器の演奏を行っている。 | 45,000 | 2年目/3年 |
| 当初計画以上の依頼があり、地域との交流、活動範囲を広げることができた。また宗像ミアーレ音楽祭にも参加し、より多くの方に生の音楽を提供した。 |
| 9 | 宗像市鐘崎中町区自治会 | 石槌神社まつり伝統御巡行こども相撲大会 | 大昔から伝統的に中町区の主催で石鎚神社の祭礼として、御巡行（太鼓）、こども相撲、お旅所設置を9月15日に限って挙行している。地域平安、子どもの健全化を祈願する本行事を保存・継承することで、区民の協力関係の醸成、伝統の継承を図る。 | 285,000 | 初年/3年 |
| 太鼓は劣化が激しかったため、張替でなく購入で対応。当日の流れや事前準備を文書化することで、後継者育成のための整備も行うことができた。 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　3,011,000円

≪平成25年度／2次募集≫

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| № | 団体名 | 事業名 | 事業概要／総括 | 決定額(円） | 事業期間 |
| 1 | P's Brass Ensemble | ぴーず・ぶらす・あんさんぶる | 地域の音楽行事に参加したり、地域の高齢者施設やデイケア（入所・通所施設）、福祉施設等で、歌謡曲、日本歌曲、クラシック曲等を演奏したり、リズム遊びをしたりや歌ってもらったりする活動を通して、音楽に親しんでもらえるような演奏を行っていく。 | 32,000 | 初年/3年 |
| 高齢者の方々に生の演奏を提供し、音楽に親しみを持ってもらうことができた。また、一緒にリズム遊びをしたり、歌を歌ったりすることで観客同士の交流を深めてもらうことができていた。 |
| 2 | 平等寺伝承行事を伝える会 | 平等寺伝承行事　継承の安定化 | 「五軒当場制度」に支えられた平等寺伝承行事が、非農家増大により、崩壊の危機に面している。伝承行事の重要性認識を高め、伝承行事の安定実施基盤を築くため、宗像市老連作成「伝承行事を守り続ける平等寺（略称：調査報告書）」をベースに住民向け調査報告書、市民向けパンフレットを作成し、説明会を実施する。 | 290,000 | 初年/3年 |
| 「調査報告書」をもとに説明会を実施し、地域住民に平等寺伝承行事の重要性を知っていただくことで、理解と協力を得ることができた。これを次のステップに生かしていくことが今後の課題になってくる。 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　322,000円

**3－2　文化芸術を通じた交流の促進【短期】**

**【平成25年度報告】**

　宗像遺産や「宗像・沖ノ島と関連遺産群」などをキーワードに民間交流を促進する取組として、市民の会による郷土神話題材のミュージカル「宗像三女神記」の公演事業や、海の道むなかた館での宗像遺産の展示、講演を行った。

　市内のダンス団体が、姉妹都市である韓国金海市と相互舞台交流を行った。

　9月30日に、海の道むなかた館、神輿が到着する神湊港で、みあれ祭前夜祭イベントを実施した。

　宗像市出身で昭和洋画壇の重鎮である中村研一が晩年を過ごした小金井市と文化交流協定を締結し、この協定を記念して、4月と8月に美術展「中村研一特別展」を開催。文化芸術を通じた交流の大きな促進となった。

**【平成26年度計画】**

　世界遺産シンポジウムや、宗像三女神記公演を通じて世界遺産登録活動の発信に努める。

　さらに、中村研一展や郷土の歴史公演や展示を通じて宗像遺産の発信に努める。

　また、市の観光事業である「春のキャンペーン」「秋のキャンペーン」も古事記に登場する宗像三女神をキーワードに展開を行う。

**3－3　文化芸術の意義に関する啓発活動【中期】**

**【平成26年度計画】**

地域での文化芸術鑑賞体験モデル事業、ユリックスでの芸術鑑賞事業、市広報紙等において文化芸術の持つ力の重要性を啓発していく。

**3－4　文化芸術の他分野への活用【中期】**

**【平成26年度計画】**

事業要項を策定。データベース稼働後、教育現場や医療福祉現場と実施と調整を行い、事業を実施する。

**3－5　市の魅力となる文化芸術の創出【中期】**

**【平成25年度報告】**

　10月12日（土）13日（日）に宗像ユリックスにて新市制10周年・宗像ユリックス開館25周年を記念して、「宗像ミアーレ音楽祭」を開催。

4月から実行委員会にて事業を開始し、6月からアウトリーチを開始した。

　本番当日は野外ステージ、ワンコインコンサート、九管ポップスファミリーコンサート、楽器体験、市民ステージを行い、アウトリーチを含めて約23,000人の方に来場いただいた。

実施期間　平成25年6月～10月※メインは10月12日、13日

実施場所　宗像市全域※メインは宗像ユリックス

実施主体　宗像ミアーレ音楽祭実行委員会

**【平成26年度計画】**

　9月14日（日）15日（月・祝）に開催。宗像ユリックス本館をメインにイベントを行う予定（野外ステージは実施しない）。4月に実行委員会にて事業を開始し、またアウトリーチも継続して行っていく。今回は、市内大学に実行委員会の参加を要請し、文化面での大学の連携も深めていく。

実施期間　平成26年6月～10月※メインは9月14日、15日

実施場所　宗像市全域※メインは宗像ユリックス

実施主体　宗像ミアーレ音楽祭実行委員会

予算　約2,000万円（文化庁助成金約800万円を含む）

新市制10周年記念・宗像ユリックス開館25周年記念

**宗　像　ミ　ア　ー　レ　音　楽　祭**

～響きわたれ！おんがくの風～

　新市制１０周年、宗像ユリックス２５周年の記念イベントとして、誰もが身近に音楽に親しみをもち、また、参加することで、市全域が音楽であふれ、市民が『音楽』を通して一体感を共有し、宗像がもっともっと好きになることを目的に、宗像ミアーレ音楽祭を開催し、述べ２３，０００人を超える方に楽しんでいただきました。

**コンセプト**

　　◇ みなさんのお手元に音色を配達する音楽祭

　　◇ ジャンルにこだわらない多種多様な要素を取り込んだ音楽祭

　　◇ 宗像市全域が会場となるよくばりな音楽祭

　　◇ 五感で楽しむことのできる音楽祭

**期間**

　　平成２５年１０月１２日（土）から１３日（日）の２日間

**主催**

　　宗像市、公益財団法人宗像ユリックス

**協力**

　　九州交響楽団、九州管楽合奏団、市内音楽団体、宗像市文化協会、コラボむなかた、宗像青年会議所、宗像観光協会、宗像市商工会、むなかた市民フォーラム、コミュニティ運営協議会など

**イベント内容**

（１） 野外コンサート（約7,600人）

　　　　１０月１２日の夕刻から宗像ユリックスの芝生広場で平原綾香、岡本知高や九州交響楽団を招き、野外コンサートを開催しました。また、野外コンサートに併せて、新市制10周年を記念した祝典を実施し、市内中学校と高校の吹奏楽部員約200人で大吹奏楽団を結成し、演奏を行いました。

　　　　※ 宗像市内に在住する小学生を無料招待し、約900人が申込

（２） アウトリーチ（約9,５00人　※平成２６年３月２８日時点）

　　　　音楽祭の事前周知や音楽祭当日に来場できない方に対し、音楽祭の開催前に市内外約５０ヶ所で出前コンサートを実施しました。最終的には今年度末までに計約７０ヶ所に音楽を届けました。

（３） 市民ステージ（約2,200人）

　　　　音楽祭の期間中、会場内に５か所（古墳広場、中庭、ホワイエ、アンダンテ、正面玄関）に特設ステージを設け、市内のアマチュア音楽家等を対象とした市民ステージを開催しました。

（４） ホールイベント（約5,700人）

　　　　音楽祭の期間中、九州管楽合奏団によるファミリーコンサート、楽器体験イベントやワンコインコンサートなどの各種イベントをユリックス本館内で実施しました。

**4－1　文化財等の保存と活用【短期】**

**【平成25年度報告】**

①文化財等の保存と活用について

* 田熊石畑遺跡を、市民協働で活用するための１次整備工事を実施した。６月には、東郷小学校や東郷地区コミュニティ・センター、商工会、市民の一般参加による芝生植イベントを実施し、歴史公園のプレオープン記念事業を実施した。手植え面積は２０００㎡、参加者は８００人を越えた。また、隣接地の保存区域の一部を国史跡に追加指定するため、具申書を作成し、国に提出。追加指定された。
* その他の文化財では、２５・２６年度２ヵ年で、国指定重要文化財である宗像大社本殿及び拝殿の修理整備工事を実施した。また、赤間にある勝屋酒造主屋及び煙突、旧出光家住宅の国登録有形文化財（建造物）について調査し、指定について国に具申書を提出中である。

②世界遺産に向けた保存・活用・継承について

* 大島御嶽山遺跡を国史跡宗像神社境内に追加指定するため、具申書を作成し、国に提出。追加指定された。
* 平成26年度推薦書提出のため、国内外の専門家会議を実施し、推薦書原案を策定中。
* 推薦書策定のため、構成資産保存の包括的保存地域等の計画を都市計画等関係各課と連携し、策定中である。

③郷土文化学習交流施設の活用について

* ２５年度からの本格的な修理に向け、宗像大社、国、福岡県教育委員会と整備計画を協議中。
* 海の道むなかた館オープン1周年記念事業として春の特別展『色定法師と日宋貿易』を実施。２４７３９人の入館者があった。記念式典と講演会などを開催。郷土料理の振る舞いなどを実施し、賑わいをみせた。
* 秋の特別展示は、新市制１０周年記念事業として『シルクロード～オリエントの世界～』を開催。沖ノ島を含む市内の遺跡で発見された貴重なガラス製品をはじめ、宗像の地にもたらした「シルクロード」の品々や西洋と東洋を結んだオリエント地域の品々を展示。２６２００人の入館者があった。これらのイベントを含め、館の利用者は、開館から併せて、２０万人を越えた。
* 「沖ノ島」の３Ｄシアターを３部作で制作し、子ども向けアニメを放映中。

**【平成26年度計画】**

①文化財等の保存と活用について

* 田熊石畑遺跡の出土品が国指定となり、歴史公園の整備が進む中、琢磨石畑遺跡をＰＲするため、宗像ユリックスにおいて、田熊石畑遺跡シンポジウムを実施する予定。また、併せて田熊石畑遺跡の時代を取り上げた秋の特別展－魏志倭人伝の国々と胸形国－を開催する。
* 平成２５年度から行われた宗像大社本殿及び拝殿の修理整備工事も引き続き実施し、１１月には完成予定。
* また、沖ノ島の国宝について、経年劣化によって、保存状態が保てないことから、保存のための再修理を開始する予定。その他の文化財についても文化財の保存に努め、整備活用を図って行く。

**4－2　世界遺産に向けた保存・活用・継承【短期】**

**【平成25年度報告】**

* 平成26年度推薦書提出のため、国内外の専門家会議を実施し、推薦書原案を策定中。
* 推薦書策定のため、構成資産保存の包括的保存地域等の計画を都市計画等関係各課と連携し、策定中。

**【平成26年度計画】**

平成26年度推薦書提出準備中。構成資産保存のための包括的保存管理計画等策定のため、都市計画等関係各課と連携。平成27・28年度で登録を目指す。

**4－3　郷土文化学習交流施設の活用【短期】**

**【平成25年度報告】**

①郷土文化学習交流館について

* 海の道むなかた館開館1周年イベント春の特別展『色定法師と日宋貿易』展をはじめ、新市制10周年事業秋の特別展『シルクロード～オリエントの世界～』展、鎮国寺花まつりと神宝館ガイドツアー、新市制１０周年記念イベント伝統文化大集合 むなかたみんなの山笠などを開催し、開館から２０万人の来館者を迎えることができた。
* 宗像市内のすべての小学校からバス利用で来館。６年生の歴史授業の学習の場として活用された。また、体験学習の導入により、市内を始め多くの小学生リピータを確保できた。
* ３Ｄシアターの番組にアニメを加え、世界遺産ガイダンスとしての機能充実を図った。

**【平成26年度計画】**

①特別展

* 春の特別展『－田中幸夫と古代の宗像－』展を開催。
* 秋の特別展『－魏志倭人伝の国々と胸形国－』展を開催。

②周年事業の開催

* 開運マーケット
* 郷土料理振る舞い事業
* 春・秋特別展

③企画展示

* 絵画展示
* ロボット工作

**4－4　文化芸術的資源の把握と継承プログラムの作成【短期】**

**【平成25年度報告】**

①地域資源の掘り起こしと活用

* 鐘崎地区において、地元学の手法で、地域に残る文化芸術的資源の掘り起こしを実施した。鐘崎地区では普通の生活に溶け込んでいたものが、他の地域から見ると重要なものであることが確認された。

**【平成26年度計画】**

①地域資源の掘り起こしと活用

* ２３年度実施した田島、神湊地区、25年度に実施した鐘崎地区資源について、海の道むなかた館の地域学芸員2期の受講者による歴史散歩のコースの策定などについて検討し、実践的な解説研修を実施する。

**4－5　地域学芸員の養成【短期】**

**【平成25年度報告】**

平成23年度より養成を開始した第1期講座受講者は、現在、海の道むなかた館において解説等の活動を展開している。

平成25年度は、第2期生受講者を養成。平成２６年度には、海の道むなかた館にて展示案内、ワークショップ指導者として活躍できるように初級講座を実施した。

**【平成26年度計画】**

海の道むなかた館の運営の中核を担う組織の一員に成長するように第２期生の中級講座を実施し、実践による育成を図る。

**4－6　情報発信の民間取り組みの促進【中期】**

**【平成25年度報告】**

BBDOなど民間広告会社の活用、テレビ・ラジオメディアへの積極的な露出。館ホームページを立ち上げた。

**【平成26年度計画】**

ホームページや民間広告会社の活用を拡充し、情報発信する。

**5－1　元気なまちづくり基金の創設と活用【短期】**

**【平成25年度報告】**

　平成22年度に創設させた基金を活用して、23年度より各種重点プロジェクトを実施してきた。

　1－1　文化芸術活動機会と鑑賞機会の確保　　　　　　500,000円

　1－2　宗像ユリックスでの鑑賞機会の創出　　　　　　5,500,000円

　1－3　アマチュア文化芸術出前隊　　　　　　　　　　500,000円

　3－1　文化芸術活動団体助成事業　　　　　　　　　　5,000,000円（100万円増）

　4－4　文化芸術的資源の把握と継承プログラム作成　　250,000円

**【平成26年度計画】**

　1－1　文化芸術活動機会と鑑賞機会の確保　　　　　　500,000円

1－2　宗像ユリックスでの鑑賞機会の創出　　　　　　5,500,000円

　1－3　アマチュア文化芸術出前隊　　　　　　　　　　500,000円

　3－1　文化芸術活動団体助成事業　　　　　　　　　　5,000,000円

**5－2　文化振興財団（仮）の設立【短期】**

**【平成25年度報告】**

　4月に公益財団法人宗像ユリックスを設立した。プロジェクトはこれで終了するが、職員のコーディネーター機能など、今後もビジョンに沿った法人として市の文化芸術の中核となるよう支援・指導していく。

**5－3　専門家の配置、相談窓口開設【短期】**

**【平成25年度報告】**

専門家の配置については、基本的にはユリックス職員がその役割を担っている。ユリックスの運営で培ったノウハウに加え、コーディネート力を高めながら、今後も役割の向上を図っていく。

相談窓口については、現在のところ開設はしていないが、今後開設の検討を行っていく。

**5－4　検証評価委員会の設置と検証【中期】**

**【平成26年度計画】**

　平成27年度の中間見直しに向けて、検証評価委員会の設置を検討する。